

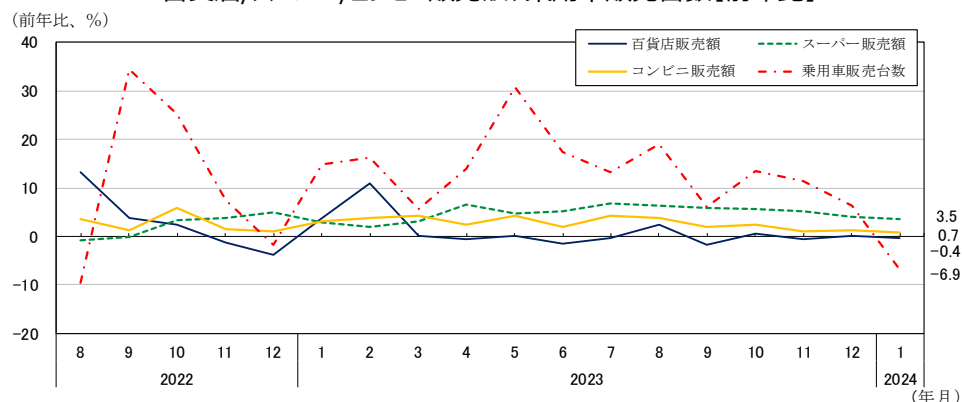
《最近の県内経済》 (2024年1月を中心として)

今月の概要

横ばいの動きとなっている。

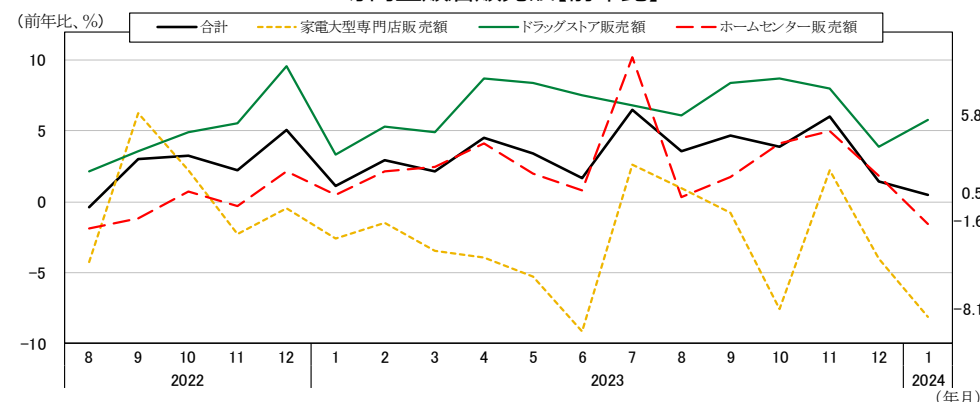
1 個人消費 ~横ばいの動きとなっている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、横ばいの動きとなっている。

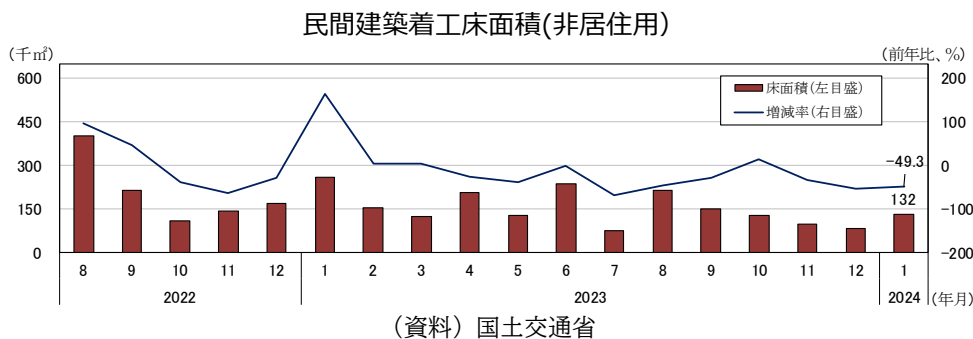
1月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は123億円で前年比0.4%減(2か月ぶりの減少)、スーパーは1,034億円で同3.5%増(16か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は542億円で同0.7%増と27か月連続の増加となった。暖冬の影響で冬物商材は伸び悩むものの、旅行・帰省などによる人流の活性化、食材高止まりによる内食需要が続いていることなどから横ばい圏内は確保した。

また、乗用車販売は、認証試験不正による出荷停止の影響により、前年比6.9%減と13か月ぶりの減少となった。内訳をみると、普通車が同比10.3%増と13か月連続の増加となったものの、小型車が同比21.8%減と5か月連続の減少、軽乗用車が同比16.8%減と3か月連続の減少となった。

1月の専門量販店販売額は、764億円で前年比0.5%増と17か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が186億円で同8.1%減(2か月連続の減少)、ホームセンターが164億円で同1.6%減(14か月ぶりの減少)となったものの、ドラッグストアが414億円で同5.8%増(20か月連続の増加)となった。家電大型専門店については、暖冬による季節家電の伸び悩みと製品単価上昇による買い控えの影響を受けた。

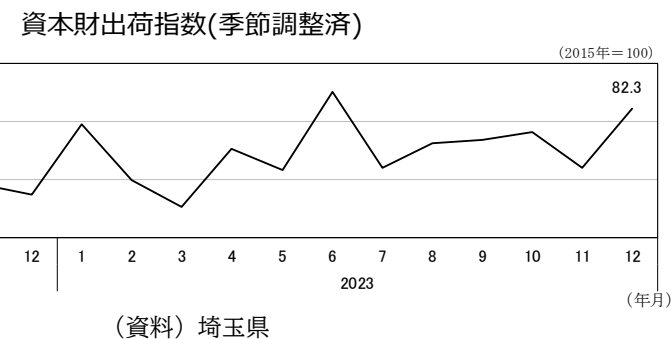
関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、12月<38.0>、1月<39.0>、2月<39.5>と推移している。

## 0 設備投資 ~投資計画は強いものの、足元弱含んでいる



1月の民間建築着工床面積(非居住用)は、132千㎡で前年比49.3%減と3か月連続の減少となった(5か月後方移動平均でも前年比34.6%減)。

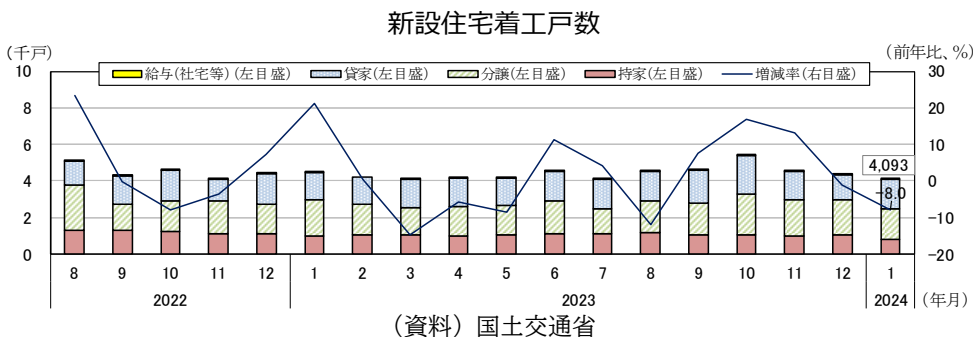
用途別にみると、病院・診療所は増加したものの、事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎はいずれも減少した。



12月の資本財出荷指数(季節調整済)は82.3で、前月比14.3%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均でも、前年比2.0%増加)。

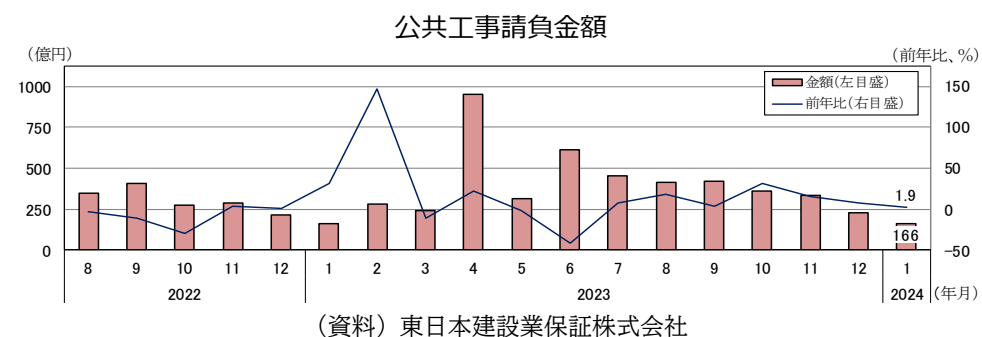
当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している(全産業前年比+8.8%)。

## 3 住宅建設 ~一進一退



1月の新設住宅着工戸数は、4,093戸で前年比8.0%減と2か月連続の減少となった(5か月後方移動平均では5.7%増)。利用関係別にみると、貸家(1,632戸)が前年比10.7%増となったものの、持家(809戸)が同17.5%減、分譲マンション(574戸)が同22.0%減、分譲一戸建て(1,071戸)が同14.1%減といずれも減少した。

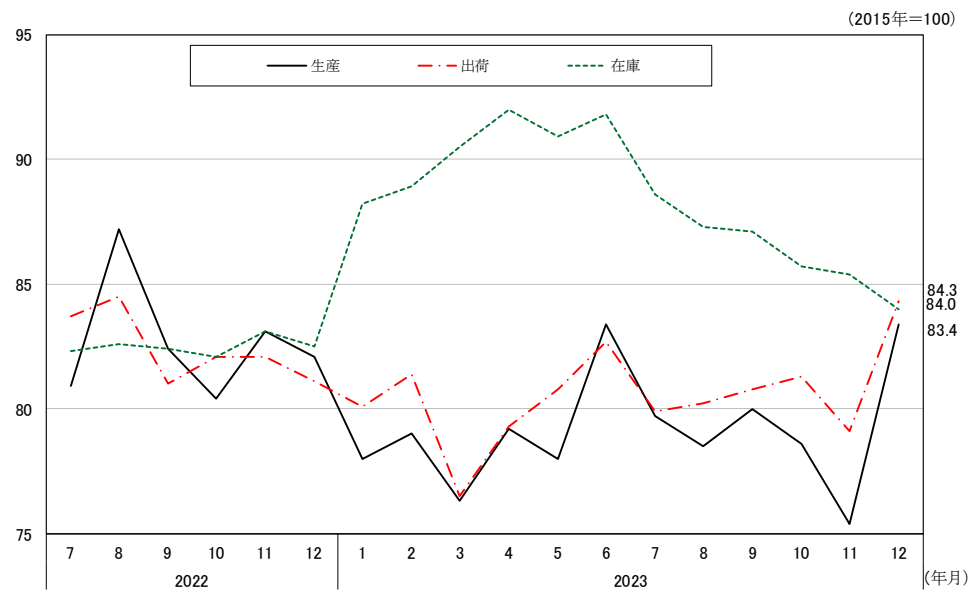
## 4 公共工事 ~横ばいとなっている



1月の公共工事請負額は166億円、前年比1.9%増となった(7か月連続の増加)。5か月後方移動平均でも前年比12.2%増で推移。発注者別の前年比をみると、都道府県は減少したものの、国、独立行政法人等、市区町村はいずれも増加した。

## 5 生産活動～弱含んでいる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



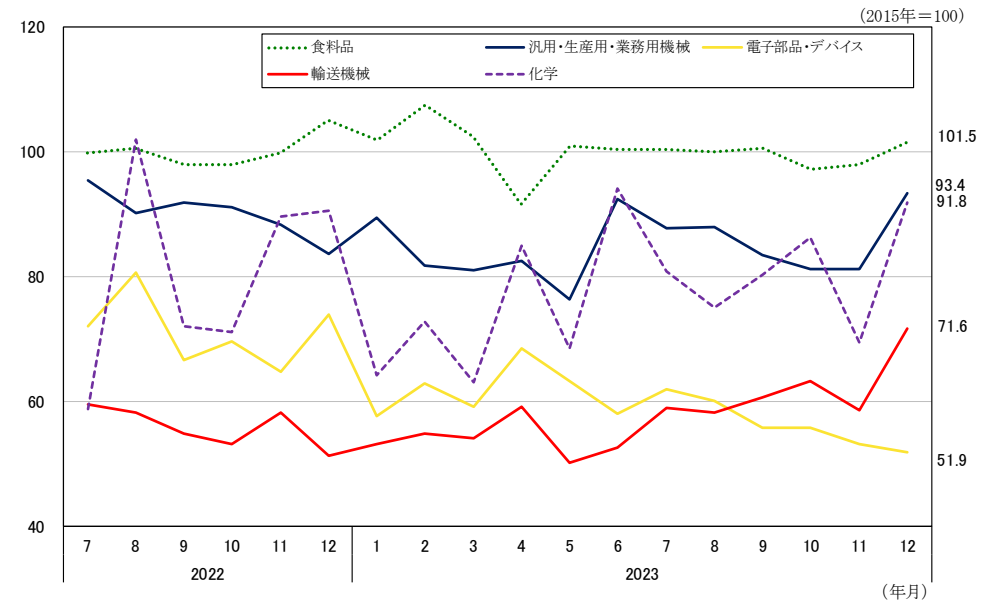
(資料) 埼玉県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、83.4で前月比10.6%上昇した(3か月ぶりの上昇)。業務用機械(試験機、分析機器)、印刷業(平版印刷、おう版印刷)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造機械)などが上昇した。

出荷指数(同)は、84.3で同6.6%上昇した(2か月ぶりの上昇)。業務用機械(試験機、分析機器)、鉄鋼業(鋼半製品、粗鋼)など低下したが、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、研削盤)などが上昇した。

在庫指数(同)は、84.0で同1.6%低下した(6か月連続の低下)。プラスチック製品(プラスチック製容器、その他のプラスチック製品)、金属製品(スチール製缶、飲料用アルミニウム缶)などが上昇したが、生産用機械(研削盤、整地機械)、電子部品・デバイス(線形半導体集積回路、混成集積回路)などが低下した。

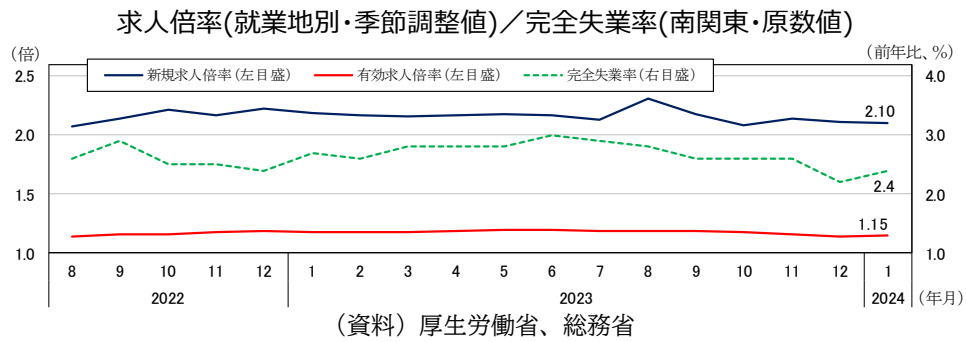
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

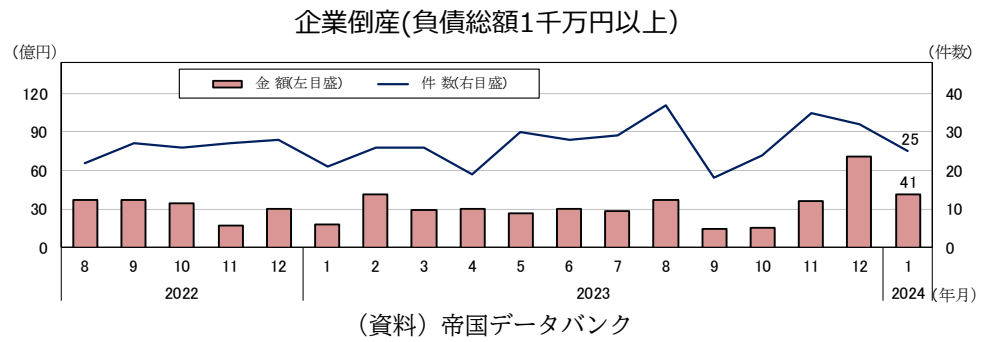
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、101.5で前月比3.7%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、93.4で同15.0%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、51.9で同2.4%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、71.6で同22.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、91.8で同32.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している



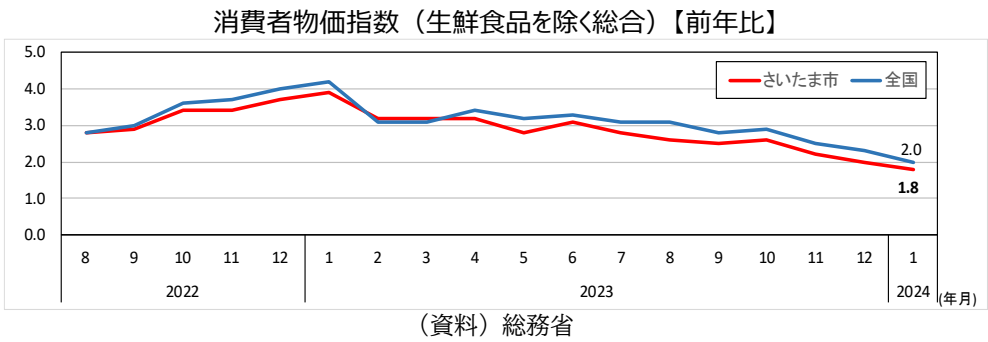
1月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.15倍で前月比0.01ポイント上昇した(4か月ぶりの上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.10倍で前月比0.01ポイント低下した(2か月連続の低下)。  
完全失業率(南関東、原数値)は、2.4%で前年同月比0.3ポイント低下した(前年同月比2か月連続の低下)。

## 7 企業倒産 ~増加傾向にある



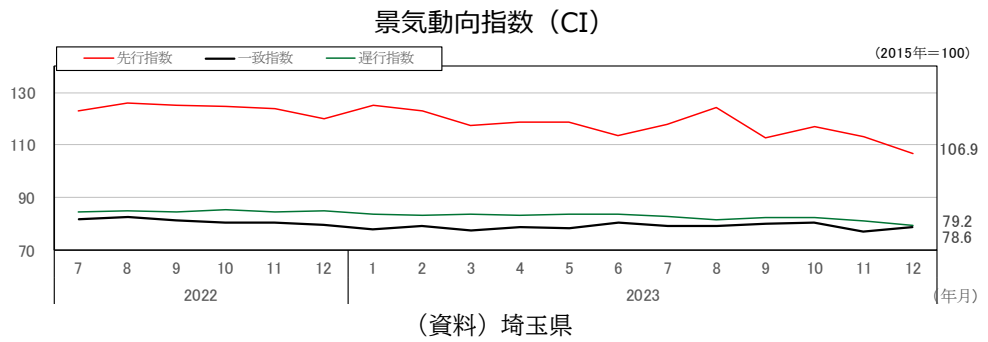
1月の企業倒産件数は25件で前年同月比4件の増加、負債総額は41億円で同比23億円の増加となった(5か月移動平均でも、件数は前年比1件の増加、負債総額は同比8億円の増加)。  
業種別にみると、建設業が最多で8件。次いで卸売業が6件、製造業が4件となっている。主因別では、販売不振が20件となっている。

## 8 消費者物価 ~上昇率がやや鈍化している



1月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、105.5で前年同月比1.8%上昇した(28か月連続の前年同月比上昇)。  
電気代は下落したものの、食料(調理食品など)や教養娯楽(宿泊費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~改善を示している



- 12月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、78.6で前月比1.6ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、106.9で同6.1ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、79.2で同2.0ポイント下降し、2か月連続の下降となった。